

平成25年度 第1回 伊勢市地域自立支援協議会 会議要旨

開催日時	平成25年4月25日（木）午後2時～午後4時
開催場所	伊勢市役所東庁舎4-2会議室
出席委員	浦田宗昭委員、山路克文委員、中井眞知子委員、前村裕司委員 藤村隆久委員、岡部浩美委員、齋藤茂委員
欠席委員	笹山武志委員、松崎まみ委員、山本とみ委員
事務局	障がい福祉課長、障がい福祉係長、担当職員、長寿課担当職員 伊勢市障害者総合相談支援センターフクシア職員2名
傍聴者	1名

○会議要旨

1 計画相談等制度拡充に受けた取り組みについて

事務局より制度説明及び今後の取り組みについて説明。

- ・ 制度の周知徹底を図るため、平成26年度より障害福祉サービス等支給申請時等に利用者に向けた文書を配付する。
- ・ 指定特定相談支援事業者が参入しやすい環境を整備することを目的とし、障害福祉サービス等支給決定更新月を誕生月へ変更することで、更新月の平準化を図り、経営の不安定さを解消する。このことは、障害程度区分認定審査会でも了承をいただき、利用者への周知については、更新手続き勧奨通知に文書を同封する予定。また、各障害福祉サービス事業所宛にも説明文書を送付するとともに、本協議会サービス部門会議でも周知を図っていく。

【各委員の主な意見】

- ・ 周知にかかる文書については、利用者や保護者にどこまでわかっていただけるか心配である。計画を立ててもらえる事業所はどこか、手続きはどのようにしたらよいのか、セルフプランも可とあるがどうすればよいのか、よくわからない。具体的にこのような書式で等の情報が欲しい。
〔事務局〕事業所がどこまで増えるかにもよるが、事業所の連絡先等も記載する予定。文面等ももっと分かりやすいように考えていく。文章だけで不足する部分については、窓口等で丁寧に説明させていただきたい。
- ・ モニタリングの時期（回数）について、対象者の状況に合わせて、入所の人でもケアホームへの移行を目指すのであれば、3ヵ月後とか、6ヵ月後とか、計画相談事業所が関わって細かく支援していく必要があると思うので、柔軟に対応してもらいたい。
〔事務局〕一定の国の基準はあるものの、あくまで市町が個別に判断することとなっていることから、事例等も十分に検討しながらケースバイケースで対

応していきたい。

- ・ 計画相談支援事業の進捗等について圏域でも何か検討されているのか〔事務局〕県下でも進んでいないのが現状。
- ・ 計画相談支援事業について、本人ニーズに基づくトータルプランを立ててくれて、1事業所からではなく、外部から見てもらえるということは本来良いことである。施設入所でも最初は丁寧にモニタリング設定の対応をしている市町もある。

2 障害者優先調達推進法について

事務局より制度説明。

現在、伊勢市としての調達方針作成に向け準備中であることを報告。

【各委員の主な意見】

- ・ 特例子会社の設置など理解のある経営者と接触していくような取り組みも必要である。
- ・ 福祉的な視点だけでなく、企業的な視点が必要。そうすれば市役所の中から仕事は出てくる。様々なところと接触していくことが必要。
- ・ なぜ障がい者ばかり優先されるのかという風潮が生じないかは心配。そうになってしまうと取り組もうとする方も心苦しくなる。
- ・ 機会の平等か、結果の平等かということになる。機会の平等とするならば、障がい者雇用している企業なら受注実績等なくても優先的に入札に参加できるなど。あるいは、結果の平等なら、ある割合はこの企業や障害者施設に発注するなどとするのか。

3 平成 25 年度協議会に関する内容等について

事務局より本協議会の組織等について説明。

【各委員の主な意見】

- ・ 課題別検討チーム（いきいき（就労関係）チーム、せいかつ（福祉サービス関係）チーム、しっていますか（相談関係）チーム）は、昨年度、現実的に機能していなかった。今年度からは積極的に活用してってもらいたい。本会だけではすべての精査は不可能であり、課題別検討チームから課題等の検討結果を挙げてきてもらいたい。
- ・ 今後、制度利用等において、計画相談支援がウエイトを占めてくると思われる。本協議会でも計画相談支援のための検討チームを作るなり、セクションが必要ではないか。

〔事務局〕しっていますか（相談関係）チームに市内唯一の計画相談事業所担当者がメンバーとなっている。計画相談事業所が増えてきたら、別セクション等の検討も必要と考えている。

- ・ 本人の権利擁護を担う部分が出てくるし、逆に計画相談の相談員が虐待の当事者になってしまうことがある。そのためにも立場の違う人が、第三者的に関わるような仕組みが必要である。
- ・ 本協議会がどのような活動をしているのかが分かりにくいいため、例えば広報紙での周知を年1回だけでも行う必要があるのではないか。
〔事務局〕 タイミングや内容などについて、改めて本会でご確認いただきたい。

4 その他

災害時要援護者避難支援について、長寿課より説明。

全体計画や現状の取り組み等について説明。